

## 2022年度事業計画 (2022. 4. 1～2023. 3. 31)

### <2022年度の活動方針>

2020年春に大きなNPO支援事業をひょうごコミュニティ財団に移譲して、2022年度は3年目となります。アドボカシー（政策提言）やネットワーク活動を中心としてきたこの2年間はちょうどコロナ禍の2年間と重なりましたが、小振りながら存在感のある活動ができたと考えています。一般的な相談や情報提供といった非資金的支援（中間支援）が課題でしたが、コミュニティ財団の方でその部分を強化しようとしており、KECとしては引き続き現在の方針を維持し、ネットワーク活動の促進や、HYOGON（ひょうご市民活動協議会）、コミュニティ財団などと連携した提言活動や情報提供を行っていきます。

### <事業計画>

#### 1. 調査研究、政策提言事業

##### (1) NPO やまちづくりに関する調査、政策提言事業

休眠預金や「孤独・孤立」関連など、国の制度政策が動きつつあり、必要に応じてタイムリーな提言活動を行う。また、自治体（兵庫県、神戸市などの各市町）へのアプローチも随時行う。

#### 2. 災害支援事業

##### (1) 被災地・避難者支援事業

休止状態の「避難サポートひょうご」について、構成団体と相談の上、その再開を検討する。

#### 3. NPO 支援事業

引き続き、休止する。

#### 4. NPO のための資源仲介事業

引き続き、休止する。

※2022/4/24KEC理事会にて承認

## 【参考】2021年度事業計画

### <2021年度の活動方針>

昨年度は小規模な法人になった1年目でした。支援事業も多くをひょうごコミュニティ財団に移し、アドボカシー（政策提言）やネットワーク活動を中心に行いました。

2021年度も引き続きこの方針を維持し、HYOGON（ひょうご市民活動協議会）などのネットワークを活かした提言活動や情報提供を行っていきます。

### <事業計画>

#### 1. 調査研究、政策提言事業

##### (1) NPO やまちづくりに関する調査、政策提言事業

- ①ひょうご市民活動協議会（HYOGON）等を中心に、コロナ禍の中にある市民活動の状況改善のために、県内NPOのネットワークづくりや行政への提言活動などを行う。具体的には、7月に予定されている兵庫県知事選挙にあたり、HYOGONとして公開討論会などを行う予定。
- ②その他、コロナ禍の中にある市民活動の状況改善のために、休眠預金その他について必要に応じてアドボカシー活動を行う。

#### 2. 災害支援事業

##### (1) 被災地・避難者支援事業

福島への支援のほか、兵庫で「避難サポートひょうご」に参加する。

#### 3. NPO 支援事業

引き続き、休止する。

#### 4. NPO のための資源仲介事業

引き続き、休止する。